

東海フェスタ2017(名城大学天白キャンパスH29.7.15土)レポート

本校のSSH自然科学部（19人）・3年理科課題研究（6人）の生徒が参加し、オーラルプレゼンテーション1件、パネルセッション2件、ポスターセッション2件、合計5件の発表を行いました。

本校の各ブースに大変多くの他校生が集まり発表を聞いてもらいました。質疑応答も盛んに行われ、参加生徒は充実感、満足感のあるフェスタでした。

<オーラルプレゼンテーション> 『酒石酸塩における自然分晶の思索』



発表者

SSH自然科学部

安田佳弘（2年）

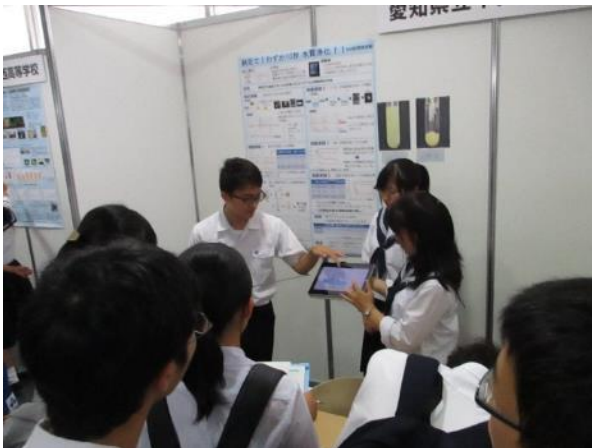
水野碩也（2年）

二村翔太（2年）

<パネル発表>

『納豆で！わずか10秒水質浄化』

『イオン交換樹脂の性質の解明』



発表者 SSH自然科学部

深津美羽（3年）

佐藤杏香（3年）

吉水 翔（3年）

飯島大右（3年）

松本彩良（3年）

<パネル発表>

『ハイコストパフォーマンス型色素増感太陽電池の開発とその性能の検討』（左）

The Development of Dye-sensitized Solar Cell (DSSC) with Good Cost Performance

『目には目を、汚れには汚れを！』（右）





発表者 3年理科課題研究グループ

館 佳香	森本 佑
西垣 知世	竹内 太紀
古家 陽菜	山下 大輝

<特別講演>野依良治先生（名古屋大学特別教授・名城大学客員教授）



野依先生から「将来、どんなイメージをもって進んでいくのか。ゴールのイメージをもって人生を歩んでほしい。」など参加高校生へ熱いメッセージを送っていただきました。

<参加生徒の感想>

「自分には『こんな発想はできないな』と思うポスターが数多くあって、自分にとって“プラス”になる体験でした。」

「すごく場違いな感じがして、緊張したけれど、やってみたら楽しくて、自分の課題研究に自信がもてました。」

「自分たちのポスターセッションの中で、鋭い質問が多々あり、勉強になりました。」

「人に分かりやすいようにポスターを使いながら説明するのが楽しかったです。」

「楽しかったです。色々な高校生の人たちが、どんなことに興味をもっているのか知ることができた。他の高校の人から自分たちの研究についてアドバイスがもらえた。」

「色々な実験で学んだことがあり、それを来てくれた人にうまく伝えられて良かったです。大学の先生に聞きに来ていただいた時にもっとレベルの高いアドバイスがもらえて良かったです。」